東海ノア
（東海 NOAH）

第２８号（平成１９年６月発行）
東　海　ノ　ア　協　定　事　務　局
（原子力機構・原子力科学研究所内）
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第２８号 をお届けします。

東海ノアでは「平成１９年度年間基本活動計画」に基づく活動を展開しております。本号は、東海ノアの日頃の活動を紹介するとともに、情報の共有化のための記事も紹介しております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、適宜、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、http://tnoah.tokai-sc.jaea.go.jp/　です。

トピックス

☆活動状況

- 安全協力委員会、活動推進幹事会の開催状況
- 自主保安に関する協力活動
- 情報交換に関する協力活動
- 緊急時に対応するための協力活動

☆加盟事業所からの事業所紹介

☆委員、幹事の交代について

☆今後の活動予定

東海 NOAH：
東海村（東海）、那珂市（N）、大洗町（O）、旧旭村（A）…現鉾田市、ひたちなか市（H）

☆活動状況

安全協力委員会、活動推進幹事会の開催状況

○第１６回安全協力委員会

開催日　：平成１９年３月１４日（水）

開催場所：原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

主な議題：

(1) 平成１８年度活動状況について

(2) 平成１９年度年間活動基本計画について

○第３８回活動推進幹事会

開催日　：平成１９年５月１８日（金）

開催場所：原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

主な議題：

(1) 自主保安に係る点検協力活動の実施について

①自主保安点検協力活動実施要領の一部改正について

②平成１９年度第１回自主保安点検協力活動の実施について

(2) 平成１９年度東海ノア通報連絡訓練の実施について

(3) 平成１９年度茨城県通報連絡訓練における東海ノアの対応について

(4) 東海ノア通信第２８号の発行について

自主保安に関する協力活動

○平成１８年度第３回自主保安に係る点検協力活動

３月１４日(水)、東海ノアより原子力機構大洗研究開発センターに、自主保安点検協力活動（平成１８年１月２３日実施）報告書が手渡されました。

平成１２年度より開始された同協力活動は、今回をもって全加盟事業所が実施されました。

原子力機構大洗研究開発センター　福田次長（写真左）に、報告書を手交する吉田幹事長

○平成１９年度第１回自主保安に係る点検協力活動

自主保安点検協力活動は、実施要領の一部改正を行い、今年度からは、１回目に実施した点検活動以降に改善された事項、事故及びトラブルの発生防止への取り組み、意見交換等を重視した点検協力活動を行います。

今年度の第１回目の点検協力活動は、第一化学薬品株式会社 薬物動態研究所を対象に、７月下旬に実施予定です。

情報交換に関する協力活動

東海ノアでは、事故、トラブル情報及び安全管理に有用な情報について情報交換を行い、安全意識の高揚につとめています。

○トラブル情報の交換

原子燃料工業株式会社東海事業所「加工工場におけるウラン粉末サンプリング時の不具合」について４月５日プレス発表があり、事務局より加盟事業所へ、情報の配信を行いました。

緊急時に対応するための協力活動

○東海ノア通報連絡訓練の実施

５月３１日（木）に、三菱原子燃料株式会社を発災想定事業所とした通報連絡訓練を行いました。

訓練には、加盟１９事業所の協力活動本部員を含め５２名が参加し、東海ノア協定に基づく通報連絡系統に従い正しく通報が行われたことが確認されました。

○茨城県通報連絡訓練への参加

今年度も６月より、「原子力施設における事故・故障発生時の通報連絡訓練」が開始されました。

東海ノアでは、通報連絡対象機関として毎年参加しており、今年度も６月１５日（土)、核物質管理センターを対象とした訓練において東海ノアへの協力要請が通告され、対象事業所を除く全加盟事業所への通報連絡訓練を実施しました。

☆加盟事業所からの事業所紹介

『当センターの安全活動について』

住友金属鉱山株式会社
エネルギー・環境事業部技術センター

当技術センターでは、試験設備の維持管理や放射性廃棄物の処理及び管理を主に行っていますが、環境保全技術等の非原子力分野の技術開発も進めています。

東海ノア通信第 9 号では、当センターの安全活動の取り組みについてご紹介させて頂きましたが、今回はその後の活動の一端をご紹介します。

1.安全文化醸成度の自己評価

安全文化醸成活動を推進しており、具体的な目標を設定し、毎年、実行スケジュールを設定して取り組んでいます。さらに年末には、安全文化の深化を定量的に自己評価して弱点を見出すため、「安全文化醸成度の自己評価レーダーチャート」を作成しています。これは、当センター員全員が「安全文化の自己評価に関するチェックリスト」を使用し、「リーダーシップ」、「学習の文化」、「自律の文化」、「柔軟性の文化」、「情報の文化」、「正義の文化」、「組織のやる気」及び「報告の文化」の８種類の項目に分けて、各々に対する達成度を職員の各階層毎に評価したものです。抽出された具体的な弱点は安全衛生委員会において改善策を議論し、順次具体的な改善を実行しています

2.リスクマネジメント活動

当社では、リスクマネジメント活動をグループ会社全体の取り組みとして展開しています。その内容は

(1)重大リスクの選定
(2)個別リスク情報のデータベース化
(3)内部監査システムの導入
(4)コンプライアンスの徹底
(5)リスク認識強化月間（９月）の設定

ですが、コンプライアンスの徹底を重要視し、また具体的なＰＤＣＡサイクルを念頭において、地道な活動を進めています。
　当センターにおいても年間活動計画を作成し、緊急対応体制の見直しや社内のデータベースに登録したリスクの内容の見直しを行っています。

　今後とも、安全の基本である「コンプライアンスの徹底」と継続的な改善に地道に取り組み、安全確保に努めていきたいと考えております。地域の皆様ならびに東海ノア協加盟事業所の方々のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

☆委員、幹事の交代について

　安全協力委員会並びに活動推進幹事会のメンバーが交代となりました。
　新たに委員、幹事となられた方は、次のとおりです。

（敬称略）

(1)安全協力委員会 委員

・東京大学大学院工学系研究科原子力専攻
　　専攻長　　長崎　晋也　（４月より）

(2)活動推進幹事会 幹事

・原子力機構原子力科学研究所
　（幹事長）　保安管理部長　　野口　宏　（４月より）

・三菱原子燃料株式会社
　　環境安全部副部長　豊田　壽久　（４月より）

☆今後の活動予定

・平成１９年度 茨城県通報連絡訓練・・・・・・・・・・・・・６月～
（通報連絡対象機関として参加）
・平成１９年度 第１回自主保安に係る点検協力活動・・・・・７月
・第３９回活動推進幹事会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・９月

編集後記

東海ノアの活動につきましては、日頃より加盟事業所の皆様方のご理解・ご協力をいただき感謝いたしております。

昨年度、加盟事業所を対象として行ったアンケートを踏まえ、更なる充実を図ることを目的として、自主保安点検協力活動実施要領の改正を行いました。また、東海ノアの訓練についても、機能の維持を第一に、効率的な実施を行う予定で検討をしております。

事務局では、小池氏の後任として４月１日より安部が着任、業務を担当しております。今後さらに活動の推進を図っていきたいと考えておりますので、ご意見、ご要望等がございましたら、事務局までお寄せください。 （東海ノア協定事務局）

東海ノア通信

東海ノア
（東海 NOAH）

記事の中で、「日本原子力研究開発機構」は
「原子力機構」と略称で記載しております。